

ながさき知的障害児者生活サポート協会主催講演会

障害特性と どう付き合う？

令和6年7月28日(日)13:30~15:00

原爆資料館ホール

(長崎市平野町7番8号)

講師:井上雅彦 教授

鳥取大学医学系研究科臨床心理学講座 教授

生活サポート総合保障制度加入者は無料、加入者以外は参加費500円
申し込み締め切りは6月28日(金)

井上雅彦氏:日本発達障害学会理事 評議員 編集委員、日本ペアレント・メンター研究会理事長、日本認知・行動療法学会理事 常任編集委員、日本行動分析学会編集委員、日本自閉症協会常任理事などを務めておられます。全国手をつなぐ育成会連合会発行の自閉スペクトラム症のわが子の日常を綴った4コマ漫画「家族はすったもんだ」の監修も手掛けられ、関わり方の解説が参考になると評判です。

わが子や利用者の障害について受容はできていても、障害特性からとる行動の中には、問題行動と言われるような行動もあり、対応に苦慮したり、時には受け入れられないようなこともあります。家族や支援者が障害特性を無視し、誤った対応を繰り返すと、本人の苦しさはさらに大きくなってしまいます。どのような対応が本人にとって適切なのでしょうか？

そこで、今回鳥取大学井上雅彦教授をお招きし、障害特性とうまく付き合うためのコツや対応の仕方、療育の方法などについてお話をお聞きします。

応用行動分析学をベースに、エビデンスに基づいた臨床心理学を目指しておられる井上教授は主に自閉症や発達障害のある人たちとその家族を支援するための様々なプログラムを開発しておられます。知的障害のある人たち全般に共通する行動や対応など、どなたが聞いても役に立つ内容だと思います。

この機会にぜひお話を聞いてみられませんか？

申し込み用紙

お名前: _____ サポート協会保険に ・加入している ・加入していない

所属(事業所・学校名): _____ 連絡先 _____

お申し込みは、電話、FAX、メールで長崎市手をつなぐ育成会啓発事業部まで

TEL: 095-845-5677 FAX: 095-841-9778

メール: timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp